

みんなの財政のミカタ

令和4年度
予算版

仙台市の財政を分かりやすく説明します



令和4年6月
仙台市

Part1.予算解説編では、仙台市の令和4年度予算についてお知らせします。
予算は、1年間の市の収入や支出の見積もりです。

目次

1.	令和4年度予算額	1
	仙台市全体の予算額は？「3つのお財布」ってなに？	
2.	歳入	2
	仙台市の1年間の収入はどうなっているの？	
3.	歳出	3
	支出の「2つの見方」ってどういうこと？	
4.	仙台市の財政状況	5
	仙台市の財政状況ってどうなの？	
5.	財政見通しと行財政改革	7
	これからの仙台市の財政はどうなるの？	
※	コラム：令和4年度予算を家計に例えると？	10

Part2. 資料編

1.	令和4年度特別会計の主な事業計画	12
2.	令和4年度企業会計の主な事業計画	14
3.	令和3年度末現在の財政状況（令和4年3月31日現在）	
	(1) 予算の執行状況（一般会計・特別会計・企業会計）	17
	(2) 市債、市有財産、基金などの状況	19

編集・発行
仙台市財政局財政部財政企画課

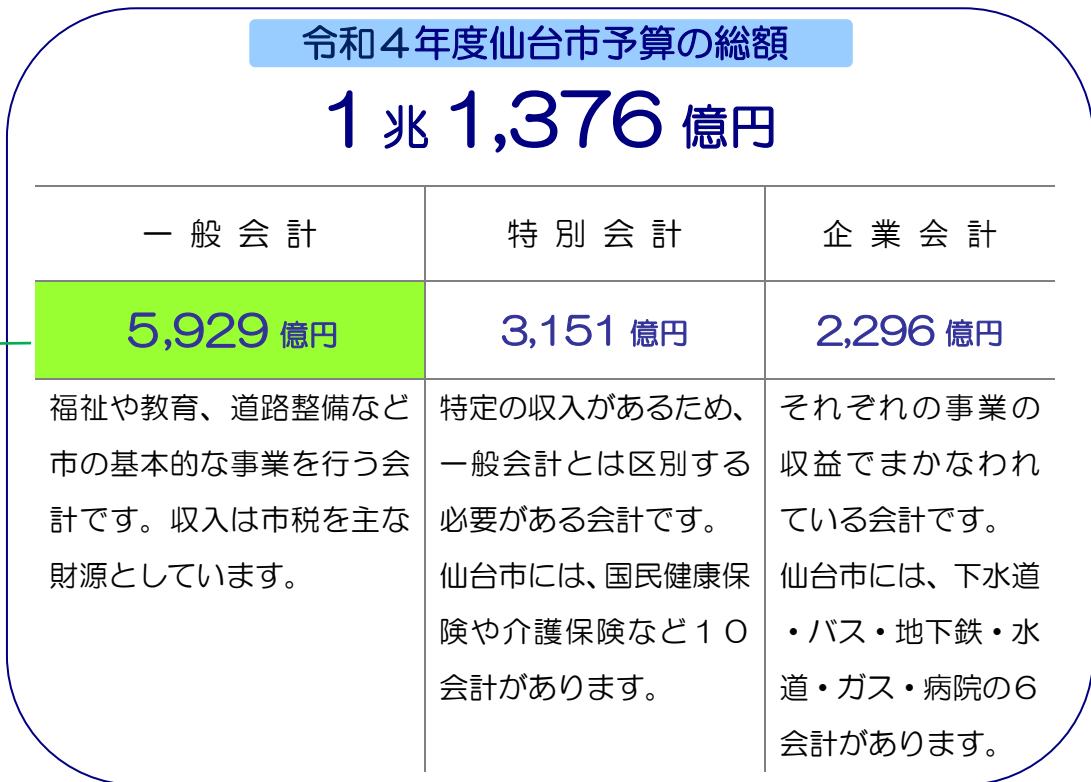
仙台市青葉区国分町三丁目7-1
電話 022 (214) 8111
FAX 022 (262) 6709
E-MAIL zai003005@city.sendai.jp

1. 令和4年度予算額

仙台市全体の予算額は？「3つのお財布」ってなに？

令和4年度の1年間に、仙台市全体でどれほどのお金が使われる予定なのか見てみましょう。

「会計」とは、家庭における「お財布」にあたるものです。収入をどの事業に使っているのかを分かりやすくするために、お財布（会計）を一般会計・特別会計・企業会計の3つに分けています。



「みんなの財政のミカタ」では、主に「一般会計」について説明をしていきます。特別会計・企業会計については、「Part2. 資料編」をご覧ください。



令和4年度予算の特徴

コロナ後の都市間競争に打ち勝ち、世界から選ばれるまちの実現を目指し、2つの柱に予算を重点配分しました。

柱1 「世界に誇る魅力と活力を生み出すまちづくり」

仙台発のイノベーションにつなげる活力向上、仙台ならではの魅力や賑わいの創出、防災環境都市のブランド力強化、新型コロナウイルス感染症対策

柱2 「多様な視点から一人ひとりの活躍を支えるまちづくり」

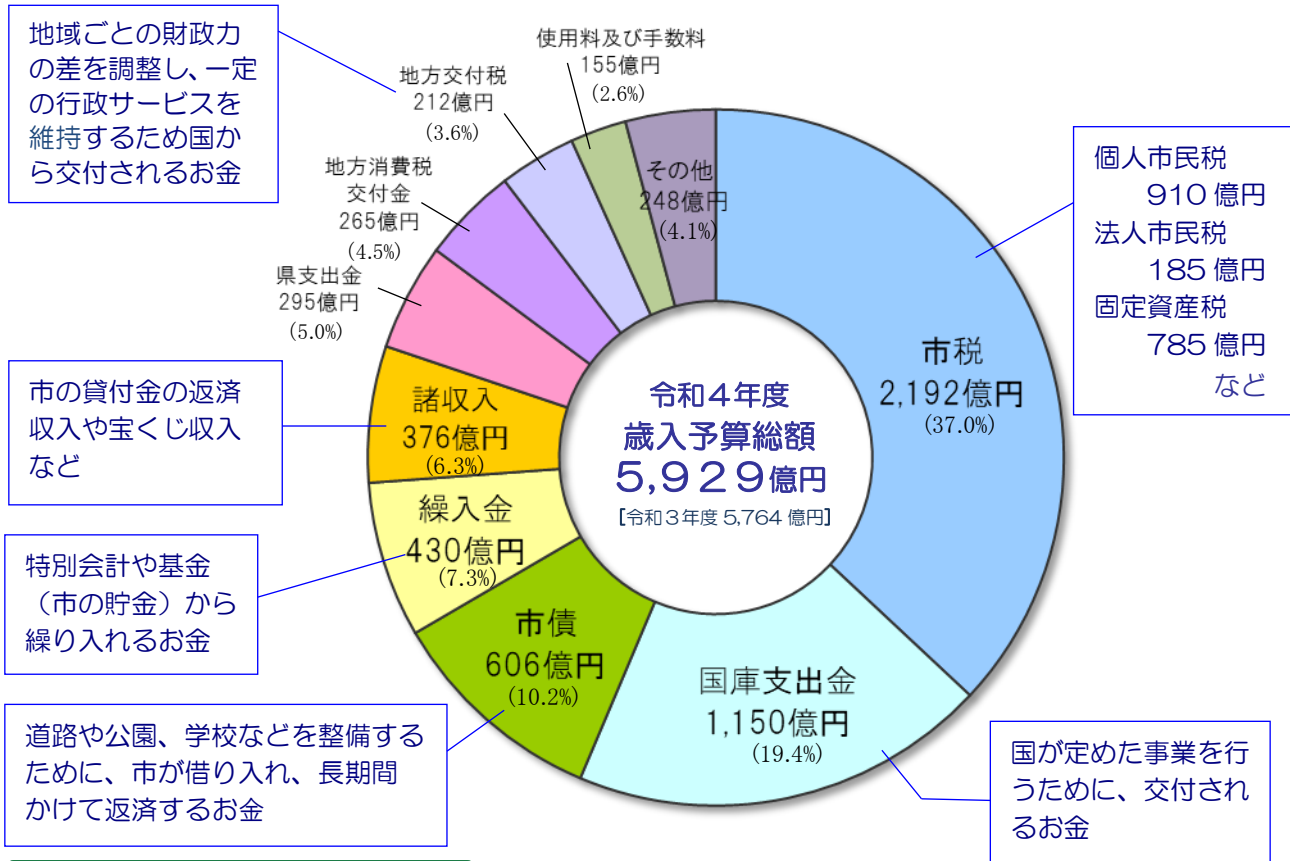
女性・若者の活躍推進と困難を抱える方々への支援、子育て応援まちづくり、安心して暮らせる地域づくり、学びの環境の充実、新型コロナウイルス感染症対策

2. 歳入

仙台市の1年間の収入はどうなっているの？

市の1年間の収入である歳入について説明します。

()は構成比



令和4年度歳入の特徴は？

市税

軽減措置の終了により固定資産税が増加したことなどにより、前年度から132億円増加しています。[R3年度 2,060億円]

国庫支出金

新型コロナウイルスワクチン接種に係る補助金が増加したことなどにより、前年度から199億円増加しています。[R3年度 951億円]

市債

臨時財政対策債(5ページの※2参照)が減少したことなどにより、前年度から77億円減少しています。[R3年度 683億円]



市税とは

市の行政サービスにかかる費用を、できる限り多くの市民に分担していただくという性格の「市民税」や、市内に土地や家屋などを持っている方に、その価格をもとに算定された金額を納めていただく「固定資産税」などの税金のことです。また「市民税」には、給与収入などに応じて個人の方に納めていただく「個人市民税」と、市内の会社に納めていただく「法人市民税」があります。

3. 歳出

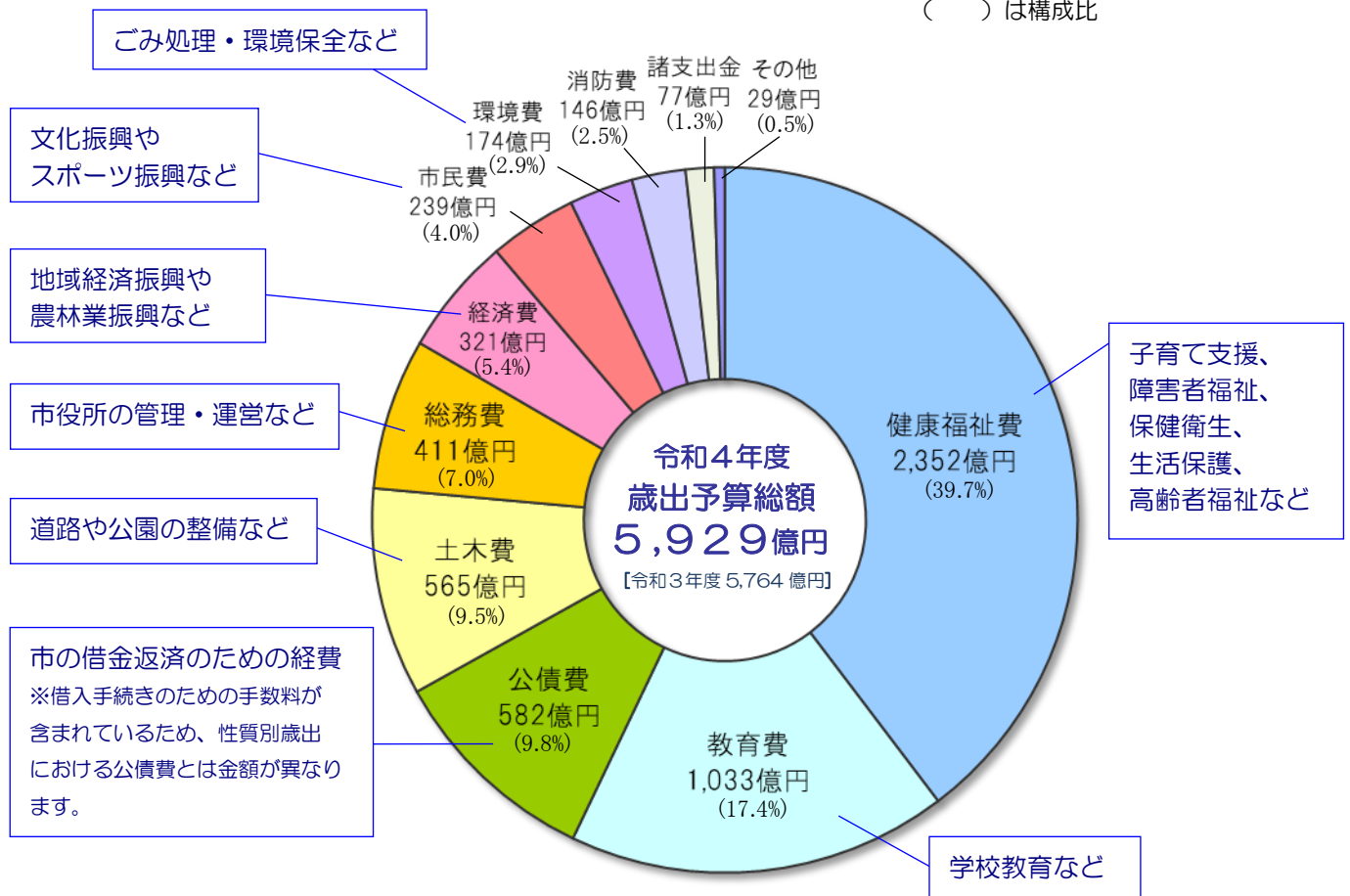
支出の「2つの見方」ってどういうこと？

令和4年度の歳出予算額は前年度から165億円増加し、5,929億円となりました。

歳出は、福祉、教育など行政サービスの目的で分類した「目的別歳出」と、扶助費、人件費など、経費の性質で分類した「性質別歳出」の、「2つの見方」をすることができます。

目的別歳出

()は構成比



令和4年度目的別歳出の主な増減（対前年度）は？

健康福祉費

新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費の増加などにより、前年度から244億円増加しています。[R3年度 2,108億円]

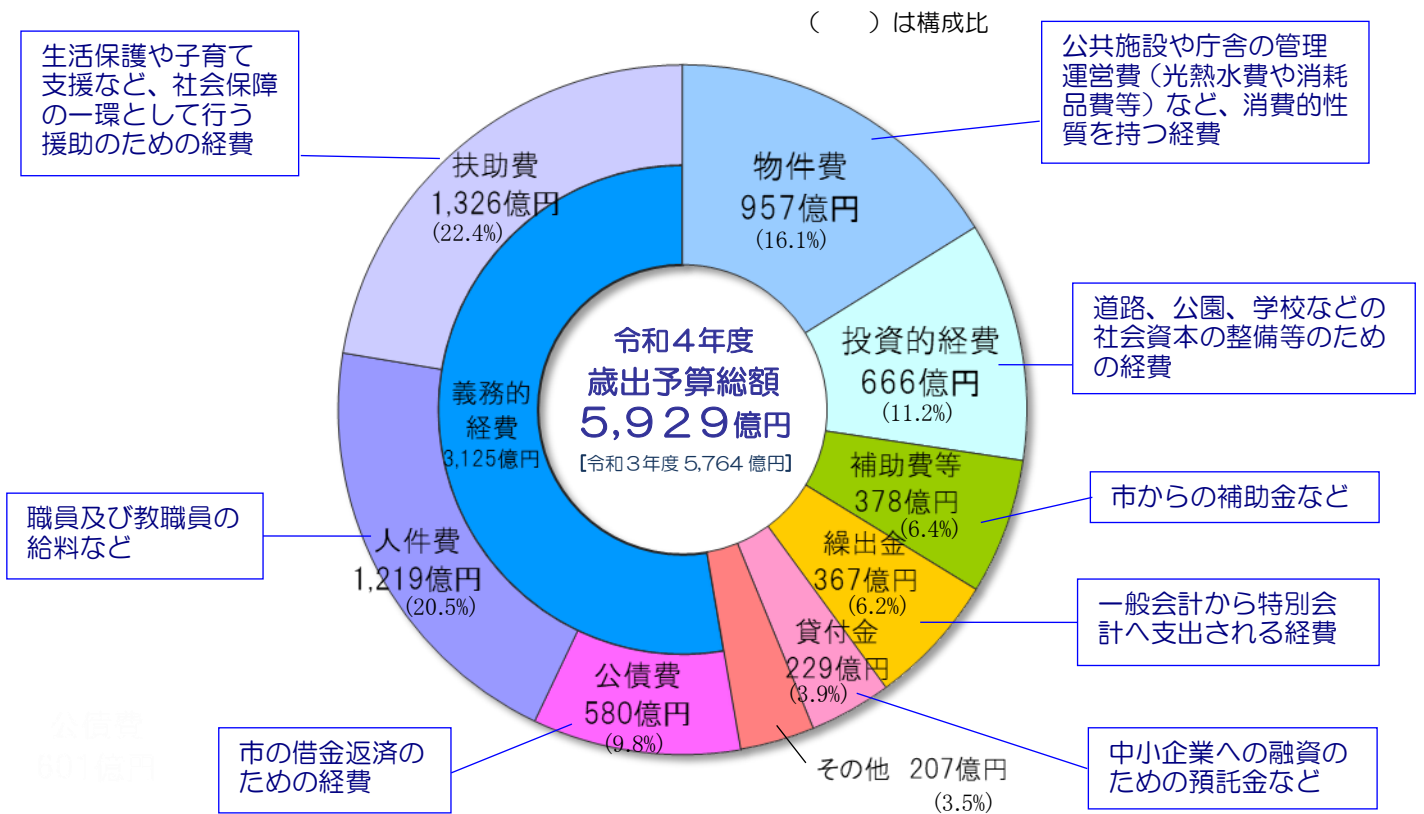
経済費

中小企業への融資のための預託金の減少などにより、前年度から58億円減少しています。[R3年度 379億円]

総務費

過年度に交付された国庫支出金などの還付金の減少などにより、前年度から46億円減少しています。[R3年度 457億円]

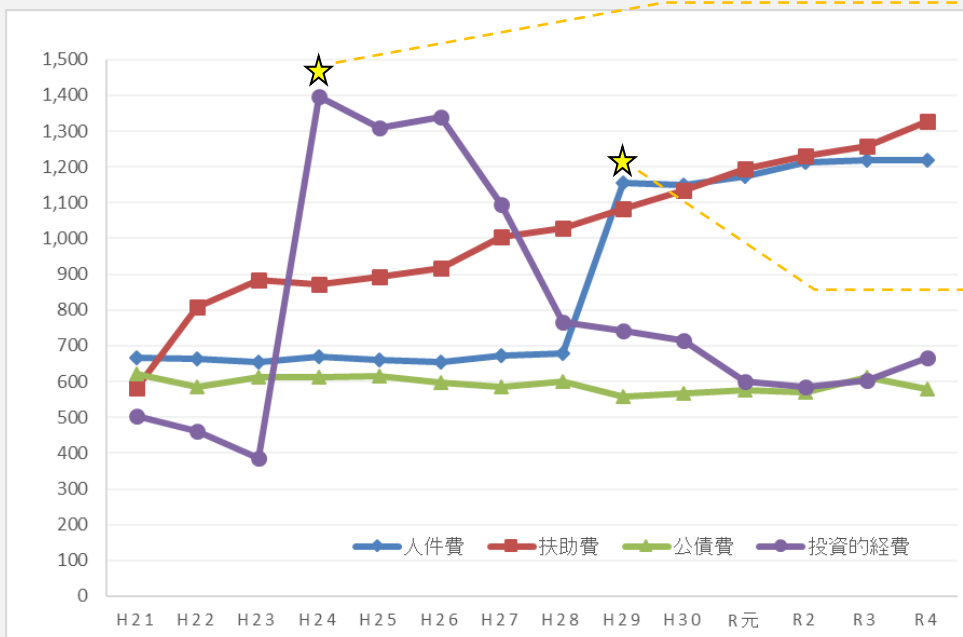
性質別歳出



グラフの左側部分にあたる人件費・扶助費・公債費を「義務的経費」といいます。これらは任意に削減することができない経費であり、この割合が大きくなると、新しい事業に使える経費が少なくなります。

主な性質別歳出の推移は？

扶助費は子育て支援等社会保障の充実により大幅に増加していますが、公債費は震災復興を除いた投資的経費の抑制によりほぼ横ばいの傾向にあります。



投資的経費は、震災復興事業を行うため、平成24年度に大幅増加となったが、近年は震災前の水準に戻りつつある。

人件費は、平成29年度から中小学校の教職員の給与が市の負担となり、大幅に増加。

(年度) 当初予算ベース

4. 仙台市の財政状況

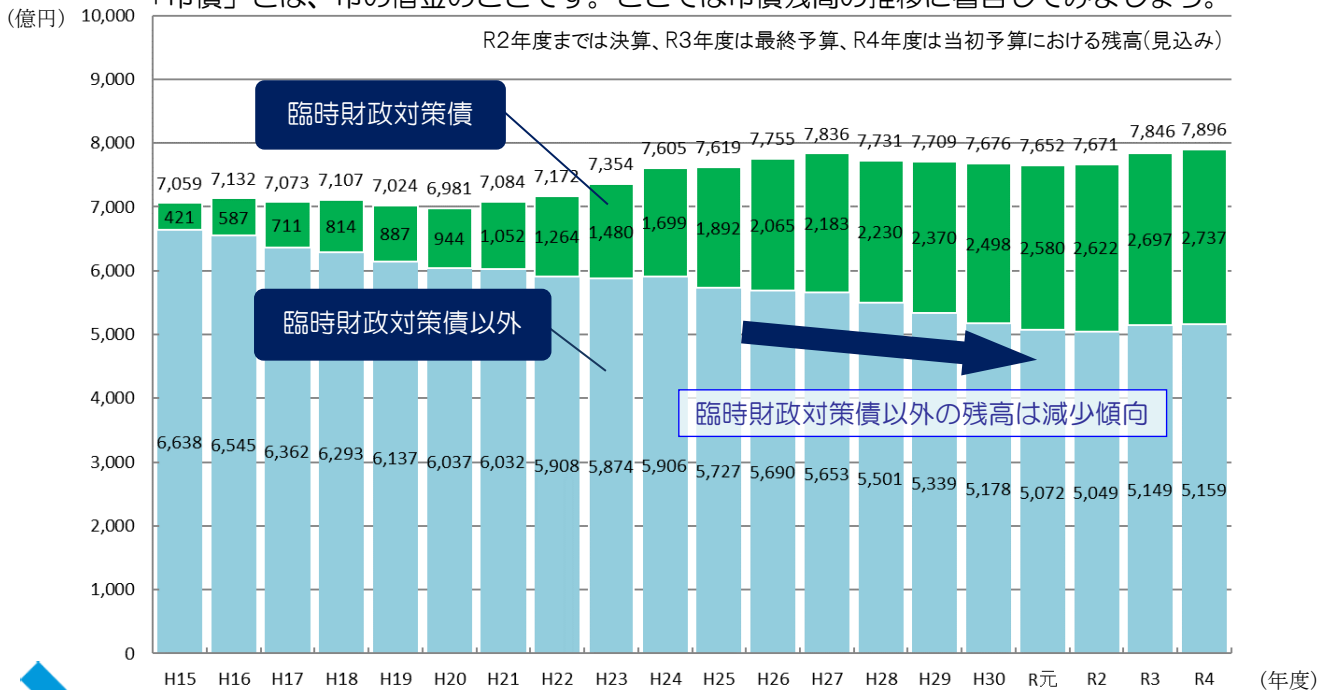
仙台市の財政状況ってどうなの？

ここまでは、主に一般会計の予算額について見てきました。

ここからは、財政状況を判断する手がかりとなる、市債や基金の残高を見ていきましょう。

市債

「市債」とは、市の借金のことです。ここでは市債残高の推移に着目してみましょう。



仙台市の市債残高(※1 普通会計)は、令和4年度末で7,896億円となる見込みです。

「臨時財政対策債」※2の残高が増加する一方で、それ以外の市債残高については、行財政改革の効果などにより着実に減少しています。

※1 他都市との比較がしやすいように、一般会計・特別会計を全国一律の基準で組み替えた会計を「普通会計」といいます。

※2「臨時財政対策債」って何？

「臨時財政対策債」とは、地方交付税の原資となる国税収入が不足していることから、その不足を埋める対策の一つとして、国から本来交付されるべき地方交付税の代わりに、地方が発行する特別な市債です。仙台市では、近年、本来交付されるべき地方交付税の半分以上が臨時財政対策債に振り替えられています。この市債の返済に必要な額は、全額が後年度に地方交付税等として手当てされます。

そもそもどうして市債を発行するの？

市債は主に、道路や学校など、将来にわたって長く利用される施設の建設費、整備費用に充てられています。市債を発行して返済を後の年度にも分けて行うことで、施設を利用する将来の世代の方にも、建設費用を公平に負担していただくことができます。

基金

「基金」とは、家計の貯金にあたるものです。

基金には、年度間で予算の財源の調整を行う「**財政調整基金**」のほか、特定の目的に使うために積み立てている基金などがあります。

令和4年度末での基金残高見込み （令和3年度最終予算、令和4年度当初予算における残高）

一般会計	2,032 億円	特別会計	253 億円
・ 財政調整基金	13 億円	国民健康保険や介護保険の 財源調整を行う基金など	※企業会計には、基金がありません など
・ 市債管理基金	1,263 億円		
・ 高速鉄道建設基金	489 億円		
・ 市庁舎整備基金	115 億円		
・ 公共施設保全整備基金	78 億円		
・ 震災復興基金	28 億円		

それぞれの基金ってどんなもの？

市債管理基金

市債の返済に必要な資金を計画的に積み立てている基金

高速鉄道建設基金

地下鉄建設等のために発行した市債の返済などに備えて積み立てている基金

市庁舎整備基金

本庁舎建替など市庁舎の整備を図るために積み立てている基金

公共施設保全整備基金

公共施設の長寿命化の推進や計画的な更新を図るために積み立てている基金

震災復興基金

東日本大震災からの復興に関する事業の推進を図るために積み立てている基金

5. 財政見通しと行財政改革

これからの仙台市の財政はどうなるの？

仙台市の財政状況について、これからの見通しを説明します。



今後の財政見通し

今後の財政見通しについては、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に加え、国における地方交付税の対応の方向性や税制改正など、歳入歳出とも不確定な要素がありますが、一定条件に基づき試算した令和7年度までの財政見通しをご説明します。（下記は、令和4年度当初予算編成時点のものです。）

今後の収入と支出(普通会計)の見通し			(単位 億円)		
		令和4年度	5年度	6年度	7年度
収入	市 税	2,192	2,241	2,263	2,294
	地方交付税	212	146	139	120
	国・県支出金	1,445	1,294	1,300	1,283
	市 債	608	611	630	574
	そ の 他	1,447	1,107	1,111	1,122
	合 計	5,904	5,399	5,443	5,393
支出	人 件 費	1,219	1,227	1,237	1,237
	扶 助 費	1,303	1,314	1,328	1,345
	公 債 費	599	603	597	645
	普通建設事業費	658	681	752	664
	そ の 他	2,125	1,874	1,841	1,859
	合 計	5,904	5,699	5,755	5,750
収 支 差			△ 300	△ 312	△ 357



※普通会計で試算しているため、P1~4の令和4年度予算額とは金額が異なります。

収 入 | 市税収入の緩やかな増加が見込まれる一方、連動する形で普通交付税は減少する見通しです。そのほかの財源については、歳出事業と連動して推移する見通しです。

支 出 | 高齢化の進展等により社会保障関係費が増加するとともに、インフラを含む公共施設の長寿命化対策及び更新にかかる経費が増加する見通しです。

収支差 | 収支差に対応する財源対策は限りがあるため、持続可能な財政基盤の確保が重要となっています。



主な収入の見通し

市 税	市税収入は、地域経済の回復が不透明であるものの、内閣府の経済見通しを考慮すると、緩やかに増加していく見通しです。
地方交付税	地域ごとの財政力の差を調整するために国から交付される普通交付税は、市税収入の緩やかな増加を受け、減少する見通しです。
市 債	公共施設の老朽化対応を含む普通建設事業の進捗等と連動して推移する見通しです。



主な支出の見通し

人 件 費	横ばいからやや増加傾向となる見通しです。(定年延長の実施については、今後、具体の制度設計を行う予定であるため、その影響は見込んでいません)
扶 助 費	高齢化の進展などにより、生活保護費、社会保障関係費が増加する見通しです。
公 債 費	臨時財政対策債の償還や震災以前の普通建設事業の抑制傾向等の要素と連動して推移する見通しです。
普通建設事業費	公共施設の長寿命化対策や更新を計画的に進めることにより増加する見通しです。
繰 出 金	国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業等に要する費用は、高齢化の進展や医療費の増加等により増加する見通しです。



今後の財政運営

感染症の収束が見通せないなか、市税収入の一定の増加は見込まれるものの、本格的な少子高齢・人口減少社会の到来等を見据えると、今後の本市の財政運営は厳しさを増していくものと見込まれます。

財政構造が硬直化している現状も踏まえ、地域経済の早期回復や、長期的視点を踏まえた成長促進による税源涵養に加え、新たな「仙台市役所経営プラン」に基づき、自主財源の安定的な確保に向けた取組みの強化、事務事業の見直しや効率化の徹底、公共施設総合マネジメントプランに基づく施設の長寿命化や事業費の更なる平準化など、歳入歳出両面におけるあらゆる方策を講じ、将来にわたり持続可能な財政基盤の確保につなげていくことが重要です。

行財政改革の取組み

多様化する市の課題に対応し、将来にわたり市民の皆様には行政サービスを提供していくためには、しっかりとした行財政運営基盤が必要です。そのため、仙台市では平成7年度以降、行財政改革を推進する計画を継続的に策定し、効率的な運営に取り組んでおり、令和4年3月には「仙台市役所経営プラン（令和4年度～令和8年度）」を策定しました。

具体的にどんなことに取り組むの？

「仙台市役所経営プラン（令和4年度～令和8年度）」の取組みの一部を紹介します。

<p>市税や保険料などの 収納率の向上</p>	<p>市税・国民健康保険料・介護保険料・保育料・市営住宅使用料などについて、組織横断的な取組みにより滞納整理に関するノウハウの共有を図るなど、より効果的・効率的な徴収対策に努め、収納率の向上に取り組めます。</p>
<p>市有地等市有財産の 処分と有効活用の推進</p>	<p>公共用途での利用見込みがなくなった土地について、売却や貸付などを行います。</p>
<p>受益と負担の適正化</p>	<p>敬老乗車証制度について、高齢者人口の増加を踏まえた今後の制度のあり方を検討します。また、ごみ処理手数料について、ごみ処理量の現状分析などを通じて、手数料のあり方を検討します。市民利用施設の使用料などについて、毎年度、施設の運営に要した費用と使用料などの収入額を把握・検証し、物価変動等も踏まえ、見直しを検討します。</p>
<p>公共施設総合 マネジメントの推進</p>	<p>施設の更新などの際に機能や面積の最適化を検討するとともに、民間活力のさらなる活用に向けた取組みなどを実施します。</p>
<p>市有建築物の長寿命化 などの取組みの推進</p>	<p>今ある施設をできるだけ長く大切に使うという考えのもと、市有建築物の改修を進めます。</p>
<p>施設のあり方の検討</p>	<p>給食施設・公立保育所・ごみ処理施設・資源化施設・老人福祉施設・市営住宅などの市が有する施設について、人口動態の変化や施設の老朽化などの現状を踏まえ、今後のあり方を検討します。</p>

5年間の取組みの効果として約122億円を見込んでおり、
適宜、新しい取組みを追加していきます。

コラム：令和4年度予算を家計に例えると？

仙台市と家庭では、金額やお金の使い道に大きな違いがあるため、単純に比較はできませんが、令和4年度の一般会計の予算を年収400万円（1か月あたり33万3千円）とした場合の家計に例えてみました。

仙台市の1か月の家計簿

収入		支出	
・給料	24万円	・食費(人件費)	6万8千円
基本給(市税)	12万3千円	・医療費(扶助費)	7万4千円
諸手当(地方交付税、国県支出金など)	11万7千円	・住宅ローンの返済(公債費)	3万3千円
・アルバイト収入		・光熱水費、日用品費	
(使用料・手数料、財産収入など)	3万5千円	(物件費など)	5万4千円
・金融機関からの借金(市債)	3万4千円	・家電の買替え、家の修繕	
・貯金の取り崩し(繰入金)	2万4千円	(投資的経費・維持補修費)	4万3千円
		・子どもへの仕送り	
		(繰出金・貸付金など)	6万1千円
合 計	33万3千円	合 計	33万3千円



収入	支出
<p>給料は全体の 72.1%を占めており、令和3年度から増加しましたが、給料だけでは全ての支出を賄うことができない状況です。</p> <p>金融機関からの借金をしたり、不足額を補うために貯金の取り崩しをしたりしています。</p>	<p>医療費が 22.2%、次いで食費が全体の 20.4%を占めており、高い割合となっています。</p> <p>食費、医療費、住宅ローンの返済といった必ずかかる費用が全体の 52.6%を占めています。</p>

Part2.資料編では、地方自治法第243条の3及び地方公営企業法第40条の2の規定のほか、各法に関連する市の条例の規定に基づき、財政状況等を公表します。

仙台市の財政状況についてさらに詳しく知りたい方は、仙台市のホームページをご覧ください。

<https://www.city.sendai.jp/shikin/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/index.html>

1. 令和4年度特別会計の主な事業計画

■ 都市改造事業特別会計

(仙台市が施行する土地区画整理事業の会計)

- 公共施行地区（仙台駅東第二地区、富沢駅周辺地区、荒井地区、蒲生北部被災市街地復興地区）の清算金徴収事務を行います。

■ 国民健康保険事業特別会計

(自営業者の方などが加入している国民健康保険の会計)

- 平成30年4月から、国民健康保険制度の安定化を図るため、都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村とともに国民健康保険事業を運営しています。
- 被保険者の医療費の支払い等に必要とする費用として646億円を見込んでおり、財源は県からの交付金で賄われます。
- 医療費水準や所得額等に応じて県から示される国民健康保険事業費納付金の支払いに243億円を見込んでいます。

■ 中央卸売市場事業特別会計

(水産物、青果物、花き及び食肉を取り扱う市場の会計)

- 本場運営・改修に10億円、食肉市場運営・改修に11億円を計上しています。
- 生鮮食料品の安全、安定供給のために施設設備の改修・更新を行います。また、市場の再整備に向け、基本構想・基本計画策定のための業務委託を行います。
- 食肉衛生管理や安定供給のため、と畜場の耐震補強や管理棟の受変電設備の改修等を行います。

■ 公共用地先行取得事業特別会計

(事業を計画的に行うために、計画決定された道路用地などをあらかじめ取得するための会計)

- 道路整備などの事業のために先行取得した用地の売り払いを行います。

■ 駐車場事業特別会計

(仙台市が設置する二日町、勾当台公園地下及び泉中央駅前の駐車場の会計)

- 二日町、勾当台公園地下及び泉中央駅前の市営駐車場の運営管理を行います。

■ 公債管理特別会計

（仙台市の借入金である市債の元金や利子などの支払を行うための会計）

- 一般会計と特別会計の公債費を一括して経理するために設置しています。
- 令和4年度の支出内訳は、元金支払が866億円、利子支払が42億円、将来の元金支払のための積立金が273億円、手数料等が3億円です。

■ 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

（母子・父子世帯や寡婦の方に対する福祉資金貸付の会計）

- 貸付見込みの件数と金額は、母子福祉資金は142件で4,700万円、父子福祉資金は4件で196万円、寡婦福祉資金は3件で231万円です。

■ 新墓園事業特別会計

（長期的、安定的に市民の墓地を確保するため、新たな墓園を整備し、運営管理を行うための会計）

- 仙台市いずみ墓園において、合葬型墓所の整備工事を行います。
- 一般墓所、芝生墓所及び個別集合墓所の貸出募集については、春と秋の年2回を予定しています。

■ 介護保険事業特別会計

（65歳以上の方と、40歳以上65歳未満で特定の病気により介護が必要と認められた方を対象に介護サービスを行う介護保険制度の会計）

- 介護サービスに要する保険給付費は、771億円を見込んでいます。
- 介護予防・日常生活支援総合事業や地域包括支援センター（52カ所）運営などの地域支援事業を行います。
- 区役所などで、要介護認定事務及び介護保険制度や手続きの広報などを行います。

■ 後期高齢者医療事業特別会計

（75歳以上の方と、65歳以上75歳未満で一定の障害のある方を対象に医療の実施などを行う宮城県後期高齢者医療広域連合への保険料などを管理する会計）

- 市内の被保険者にご負担いただく保険料として111億円を見込んでいます。
- 運営主体は広域連合ですが、窓口業務は本市で行い、印刷や郵送費等の事務費として5億円を見込んでいます。
- 所得の少ない方の保険料負担を軽減するために20億円の支出を見込んでいます。

2. 令和4年度企業会計の主な事業計画

下水道事業会計（下水道の整備・維持管理を行う会計）

- ・大規模地震の発生時における被害を軽減するため、第3南蒲生幹線の整備や管さよの耐震化工事などを行います。
- ・高い浸水リスクを持つ地域における浸水被害を軽減するため、雨水排水施設の整備を進めます。

令和4年度業務予定量

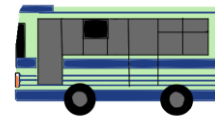
- ・汚水処理戸数 53万4,650戸
- ・年間総汚水
処理水量 1億3,177万^m₃
- ・一日平均汚水
処理水量 36万^m₃

自動車運送事業会計（バス事業の会計）

- ・安全対策強化等を目的に導入した常時記録型ドライブレコーダーの更新を行います。
- ・施設の計画的な更新の取組みとして、川内営業所及び整備工場の建替工事を開始します。
- ・バス待ち環境及び利便性向上の取組みとして、バス停留所上屋の改修・増設や、白色LED行先表示器への更新を継続して行います。
- ・バリアフリー化推進や環境・安全対策として、ドライバー異常時対応システムを搭載した低公害型ノンステップバスの導入を進めます。

令和4年度業務予定量

- ・車両数 466両
- ・年間走行km 1,627万km
- ・年間総輸送人員 3,320万人



高速鉄道事業会計（地下鉄事業の会計）

- ・安全な列車運行の確保のため、変電所の非常用発電設備や高圧受電設備等の更新を行います。
- ・バリアフリー化の取組みとして、ホームと車両の隙間縮小を進めます。
- ・利便性向上の取組みとして、八乙女駅及び五橋駅におけるエスカレーター設備の増設を実施します。
- ・新型車両の導入に向けて、富沢車両基地内の各種装置等の改修を進めます。

令和4年度業務予定量

- ・車両数 144両
- ・年間走行km 1,261万km
- ・年間総輸送人員 8,569万人



水道事業会計（上水道事業の会計）

- ・災害時でも安定した給水が行えるよう、管路や施設の更新・耐震化や、単独配水区域の解消を進めます。
- ・災害対応力の強化のため、災害時給水施設の設置拡大や長期停電対策を推進します。
- ・水需要の減少に合わせた施設の再構築を進めます。
- ・アセットマネジメント手法による適切な維持管理・更新を行い、ライフサイクルコスト縮減を進めます。
- ・民間事業者等との連携や、インターネット等を活用したお客さまとの双方向コミュニケーションの充実等により、開かれた経営の実現を進めます。

令和4年度業務予定量

- ・使用給水栓数 48万3,000栓
- ・年間総配水量 1億2,079万 m^3
- ・一日平均配水量 33万0,920 m^3



ガス事業会計（都市ガスなどの供給事業の会計）

- ・保安面では、製造供給設備の適切な維持管理を継続し、保安レベルの維持向上を図るため、港工場集中監視制御装置の更新や経年本支管の入替えなどを着実に実施し、都市ガスの安定供給に努めてまいります。
- ・営業面では、お客さまの他燃料への離脱防止対策を推進するとともに、住宅メーカー等との関係強化を進め、新規物件への都市ガス採用に向けた取組みに注力し、販売量の拡大を図ります。

令和4年度業務予定量

- ・供給戸数 34万4,594戸
 一般ガス事業 34万3,089戸
 附帯事業（プロパン） 1,505戸
- ・年間供給量（※）
 一般ガス事業 2億8,119万 m^3
 附帯事業（プロパン） 17万3千 m^3
- ・一日平均供給量（※）
 一般ガス事業 77万 m^3
 附帯事業（プロパン） 474 m^3



※一般ガス事業は熱量 45 メガジュール/ m^3

附帯事業（プロパン）は熱量 100.4652 メガジュール/ m^3

病院事業会計（市立病院の会計）

- 仙台医療圏の中核病院として、市民が必要とする救命救急医療・小児救急医療、周産期医療をはじめとする政策的医療を継続して提供します。
- 第2種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症への対応を行います。
- 外来で抗がん剤治療を受ける患者さんが利用する化学療法室を増床し、適切な治療環境の整備を進めます。

令和4年度業務予定量

• 病床数	525床
うち一般病床	467床
精神病床	50床
感染症病床	8床
• 予定年間患者数	35万人
うち入院	14万5,300人
外来	20万4,700人



3. 令和3年度末現在の財政状況（令和4年3月31日現在）

ここからは、令和3年度予算の執行状況や財産の状況などについてお知らせします。
 なお、出納整理期間※が設けられているため、令和3年度決算の状況については、別途お知らせします。

※ 年度末（3月31日）までに支払いや受け入れの原因が生じた場合、原則としてその年度の収支として取り扱うこととなりますが、実際の支払いや受け入れの手続きについて一定の整理期間が必要であることから設けられているもので、具体的には翌年度の5月31日までと定められています。

（1）予算の執行状況

- ① 一般会計 令和3年度の予算現額(令和3年度予算と令和2年度からの繰越予算を合計した額)は約6,955億円です。予算の執行率は歳入が85.4%、歳出が70.3%です。

歳入予算の項目別執行状況

（単位 億円）

科目	予算現額	収入済額	収入済割合
市 税	2,158	2,057	95.3%
国庫支出金	1,648	1,473	89.4%
市 債	755	444	58.8%
県支出金	701	621	88.6%
諸 収 入	362	271	74.8%
地方交付税	327	331	101.3%
そ の 他	1,004	743	74.0%
合 計	6,955	5,940	85.4%

※収入済割合は、円単位で計算した場合の割合としています。

歳出予算の項目別執行状況

（単位 億円）

科目	予算現額	支出済額	支出済割合
健康福祉費	2,725	2,243	82.3%
教 育 費	1,060	848	80.0%
経 済 費	751	620	82.5%
土 木 費	716	447	62.5%
公 債 費	612	0	0%
総 務 費	456	204	44.7%
そ の 他	635	531	83.5%
合 計	6,955	4,893	70.3%

※支出済割合は、円単位で計算した場合の割合としています。

※公債費の支出済割合が0%となっているのは、市債の元利償還を一括管理している公債管理特別会計への繰出処理を出納整理期間中に行うためです。

② 特別会計

令和3年度末予算執行状況

(単位 億円)

会計名	予算現額	収入済額	収入済割合	支出済額	支出済割合
都市改造事業	38	15	39.3%	5	13.4%
国民健康保険事業	926	823	88.9%	852	92.1%
中央卸売市場事業	48	19	39.9%	25	51.4%
公共用地先行取得事業	10	0	2.9%	9	97.5%
駐車場事業	2	2	95.4%	1	45.2%
公債管理	1,179	307	26.1%	898	76.1%
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1	3	371.4%	0	46.5%
新墓園事業	6	3	49.7%	1	19.1%
介護保険事業	831	672	80.9%	724	87.1%
後期高齢者医療事業	124	115	92.6%	119	95.3%
合計	3,165	1,959	61.9%	2,634	83.2%

※収入済割合及び支出済割合は、円単位で計算した場合の割合としています。

③ 企業会計

令和3年度末予算執行状況

(単位 億円)

会計名	収益的			資本的			
	予算現額	執行済額	執行率	予算現額	執行済額	執行率	
下水道事業	収入	359	360	100.4%	298	187	62.8%
	支出	332	330	99.4%	439	327	74.4%
自動車運送事業	収入	92	92	99.6%	14	11	77.4%
	支出	105	100	95.7%	18	15	81.2%
高速鉄道事業	収入	202	201	99.5%	23	20	86.6%
	支出	234	227	97.1%	101	98	96.8%
水道事業	収入	300	301	100.1%	60	41	68.5%
	支出	266	250	94.1%	199	145	72.9%
ガス事業	収入	378	377	99.8%	43	11	26.4%
	支出	338	320	94.6%	86	65	76.8%
病院事業	収入	194	207	107.0%	28	27	97.1%
	支出	192	188	97.6%	32	31	97.2%
合計	収入	1,525	1,538	100.9%	466	297	63.9%
	支出	1,467	1,415	96.5%	875	681	77.8%

※執行率は、円単位で計算した場合の割合としています。

※消費税等込みの金額となっています。

(2) 市債、市有財産、基金などの状況

令和3年度決算の状況については、別途お知らせします。

① 市債の状況

会計別市債現在高

(単位 千円)

会計名	現在高	借入先				
		財務省	独立行政法人 郵便貯金簡易生命 保険管理・郵便局 ネットワーク支援 機構	地方公共団体 金融機構	市場公募債	市中銀行等
一般会計	851,117,604	155,433,796	5,567,178	59,649,243	492,306,938	138,160,449
特別会計	29,983,520	1,456,531	26,603	5,124,357	15,568,062	7,807,967
都市改造事業	14,486,675	138,989	26,603	303,953	12,402,062	1,615,068
中央卸売市場事業	10,127,099	1,317,542	0	4,820,404	47,900	3,941,253
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	592,956	0	0	0	0	592,956
新墓園事業	4,776,790	0	0	0	3,118,100	1,658,690
企業会計	410,904,190	101,409,528	25,568,869	178,141,464	0	105,784,329
下水道事業	176,996,041	27,122,108	25,221,775	72,066,281	0	52,585,877
自動車運送事業	4,506,663	121,767	0	173,646	0	4,211,250
高速鉄道事業	122,081,180	13,492,633	347,094	70,182,679	0	38,058,774
水道事業	56,461,141	32,474,505	0	20,617,236	0	3,369,400
ガス事業	28,589,456	14,136,354	0	12,163,244	0	2,289,858
病院事業	22,269,709	14,062,161	0	2,938,378	0	5,269,170
合計	1,292,005,314	258,299,855	31,162,650	242,915,064	507,875,000	251,752,745

一般会計のうち目的別内訳

(単位 千円)

区分	現在高	区分	現在高
総務債	5,977,098	高速鉄道事業債	96,575,140
市民債	38,264,738	水道事業債	2,999,577
健康福祉債	33,443,480	災害復旧債	5,668,988
環境債	10,924,963	減税補てん債	24,701,700
経済債	4,185,724	臨時税収補てん債	263,000
土木債	234,282,731	臨時財政対策債	297,106,896
消防債	13,091,316	減収補てん債	6,964,573
教育債	76,667,680	猶予特例債	0
		合計	851,117,604

② 市有財産、基金の状況

一般会計と特別会計の財産

	単位	行政財産※ ¹		普通財産※ ⁴	合 計
		公用財産※ ²	公共用財産※ ³		
土地	m ²	2,022,156	34,890,078	14,863,037	51,775,271
建物	m ²	367,774	3,132,999	76,714	3,577,487
山林（市有林）	m ²		3,326,535	17,892,760	21,219,295
立木	m ³		59,685	393,294	452,979
物権	m ²		35,984	8,060	44,044
動産	機		2	0	2
無体財産権	件		26	0	26
有価証券	千円			144,879	144,879
出資による権利	千円			8,347,318	8,347,318
物品	千円			22,150,191	22,150,191
債権	千円			14,921,479	14,921,479
基金※ ⁵	千円			271,584,978	271,584,978

注) 土地のうち、行政財産の3,326,535m²と普通財産の12,886,459m²は山林（市有林）と重複しています。また、立木は推定蓄積量です。

※1 行政財産 | 市が所有している財産で、行政目的に利用されているものや、利用されることが決定されたもので、公用財産と公共用財産に分けられます。

※2 公用財産 | 庁舎など、市が事務を行うために直接使用することを本来の目的とする財産です。

※3 公共用財産 | 公園、学校など、市民の皆さんが利用することを本来の目的とする財産です。

※4 普通財産 | 行政財産以外の財産です。直接特定の行政目的に使われるものではなく、一般私人と同等の立場で所有し、貸付などによる収益は市の財産収入となるものです。

※5 基金 | 財政の健全な運営や特定の目的のため財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けられる資金又は財産です。本市の場合、17の基金が設置されています。

（17の基金：財政調整基金、市債管理基金、高速鉄道建設基金、百年の杜づくり推進基金、環境保全基金、福祉基金、文化振興基金、仙台城史跡整備基金、震災復興基金、公共施設保全整備基金、中小企業活性化基金、市庁舎整備基金、奨学金返還支援基金、災害救助基金、土地開発基金、国民健康保険事業財政調整基金、介護保険事業財政調整基金）

企業会計の財産

(単位 千円)

	下水道 事業	自動車 運送事業	高速鉄道 事業	水道事業	ガス事業	病院事業	合 計
土 地	20,286,311	2,718,212	14,027,394	8,837,697	8,705,121	9,170,830	63,745,565
土地面積 (㎡)	2,105,777	125,673	239,907	2,623,211	284,743	35,018	5,414,329
建 物	30,093,070	1,026,788	40,749,004	6,666,941	2,530,423	13,583,880	94,650,106
建物面積 (㎡)	126,365	14,330	242,745	71,145	37,820	55,800	548,205
構 築 物	478,896,197	228,887	188,474,608	142,888,134	25,923,952	210,974	836,622,752
未竣工施設 建設仮勘定	22,741,195	11,126	368,336	4,363,305	512,356	0	27,996,318
車両運搬具	23,099	1,515,050	4,386,229	35,555	43,535	4,863	6,008,331
機械及び装置	53,143,981	39,024	5,492,976	12,093,148	4,754,957	0	75,524,086
器具工具備品	51,905	504,048	106,891	470,321	30,829	2,224,916	3,388,910
リース資産	0	0	0	406,424	33,073	0	439,497
長期貸付金等	0	0	0	0	0	0	0
出資による権利	27,000	28,029	93,289	69,500	141,897	0	359,715
無形固定資産	3,248,764	10,345	7,005	5,331,714	708,880	1,020,326	10,327,034
合 計 (千円)	608,511,522	6,081,509	253,705,732	181,162,739	43,385,023	26,215,789	1,119,062,314

注) 財産のうち、建物、構築物、車両運搬具、機械及び装置、器具工具備品、リース資産、無形固定資産については、減価償却後の金額です。

③ 一時借入金状況 令和4年3月31日現在の一時借入金残高はございません。

※一時借入金は、支払い資金の不足を臨時的に補うために、その年度内で償還する条件で借り入れるものです。

[寄附のお願い]

仙台ふるさと応援寄附

仙台ふるさと応援寄附

仙台市では、皆様からいただいたご寄附を、新たなまちづくりに活用させていただいております。仙台にお住まいの方も、市外にお住まいの方も、寄附を通じて仙台を応援いただければ幸いです。

なお、令和2年5月より「新型コロナウイルス感染症対策」を寄附金の使いみちに追加しています。

● 寄附金の使いみち

お申し込みの際、寄附金の使いみちをお選びいただけます。

<input type="checkbox"/> 震災の経験や教訓の継承・発信	<input type="checkbox"/> 防災・減災施策の充実	<input type="checkbox"/> ふるさとの杜再生	<input type="checkbox"/> 楽都仙台推進(音楽文化の振興)
<input type="checkbox"/> 文化芸術振興	<input type="checkbox"/> 子育て支援	<input type="checkbox"/> 学校・学び・文化財・ミュージアム事業応援	<input type="checkbox"/> 障害のある方の支援
<input type="checkbox"/> 高齢者施策推進	<input type="checkbox"/> 保健福祉推進	<input type="checkbox"/> ふるさと農業振興事業	<input type="checkbox"/> 社会起業家支援
<input type="checkbox"/> 奨学金返還支援	<input type="checkbox"/> 観光振興	<input type="checkbox"/> 仙台のお祭り応援	<input type="checkbox"/> 百年の杜づくり推進基金
<input type="checkbox"/> 八木山動物公園オフィシャルサポーター	<input type="checkbox"/> 街路樹・公園遊具管理	<input type="checkbox"/> 地球温暖化対策・資源循環の推進	<input type="checkbox"/> 地域の防犯・交通安全施策推進
<input type="checkbox"/> 動物愛護の推進	<input type="checkbox"/> 仙台国際ハーフマラソン大会応援	<input type="checkbox"/> スポーツ振興	<input type="checkbox"/> 協働によるまちづくりの推進
<input type="checkbox"/> 秋保・広瀬・大沢・根白石地域活性化サポーター	<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症対策	<input type="checkbox"/> 仙台まるごと応援	※ご指定がない場合は「仙台まるごと応援」に活用させていただきます。

● 寄附された方と寄附金活用状況のご紹介

公表について承諾をいただいた方のお名前や、寄附金の活用状況などを仙台市ホームページで紹介しております。

● 税制面の優遇

- 事業者の方
申告により、寄附金の全額が法人税の損金扱いとなります。
- 個人の方
寄附（ふるさと納税）について確定申告をしていただくと、住民税と所得税から寄附金の2,000円を超える部分が一定限度控除されます。
一定の給与所得者等（寄附金の控除以外に申告すべき事項が無い方）は、ワンストップ特例申請により、税の申告を行わなくても寄附金の控除を受けられる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」をご利用いただけます。
※税の申告をする方、ふるさと納税先が5団体を超える場合はこの制度の対象とはなりません。

● 寄附のお申し込み

ホームページ「楽天ふるさと納税」からお申し込みいただけます。

申請書による場合は、ファックス、郵送、電子メール、持参のいずれかの方法により、仙台市役所財政局財政企画課までお申し込みください。

● 問合せ先

- 仙台市への寄附に関すること：財政局財政企画課 電話：022-214-8111
- 税の控除に関すること：お住まいの市区町村の税務担当課にお問い合わせください。
(仙台市にお住まいの方：財政局市民税課 電話：022-214-8637、8638)

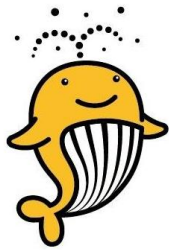
寄附の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

仙台ふるさと応援寄附

検索

<https://www.city.sendai.jp/zaiseikikaku-somu/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/oenkifu/index.html>

仙台市 宝くじ情報



みなさん
宝くじは
仙台市内で
買ってね。



宝くじのイメージキャラクター
「クーちゃん」

宝くじは、**仙台市内**でお買い求めください!!

仙台市内で販売された宝くじの売上の一部は、仙台市の収入となっており、**高齢化・少子化対策のための事業や環境保全事業などの貴重な財源**として活用しています。

宝くじは夢を持つことができるとともに、市民の皆様のよりよい生活のために大変役立つものなのです。

宝くじの情報は仙台市ホームページからもご覧いただけます！

仙台市 宝くじ情報

検索

宝くじ公式サイトなら
いつでもどこでも宝くじが買える！



ジャンボ
宝くじも
買える！

宝くじ



これからも市バス・地下鉄をご利用ください！



市バスは8月21日で開業してから80年、地下鉄は7月15日で開業してから35年の節目を迎えます。これからも皆様の信頼にお応えできるよう、安全・安心を第一にサービスの向上に努めてまいりますので、今後ともお出かけには市バス・地下鉄をぜひご利用ください。

市バスと地下鉄を上手に乗りこなして 移動は“お得に”“時短で”

○経路・運賃・時刻表は



せんだい市バス・地下鉄ナビ

<https://www.navi.kotsu.city.sendai.jp/>

○バス待ちには

バスの接近情報をネットでお知らせ



<https://www.dokobasu.kotsu.city.sendai.jp>

○仙台名所巡りには



<https://loople-sendai.jp/>

お得なクーポン付き「120円パツ区一日乗車券」 仙台 MaaS(マース)で販売中！

対象のバス停にはロゴマーク



市中心部の市バス・宮城交通バスが120円均一で乗車できる「120円パツ区」。

その区域内が300円で1日乗り放題となるお得な乗車券を、仙台 MaaS のウェブサイト限定で発売しています！

ご購入は
こちらから



乗車券についてくるクーポン提示で受けられる飲食店等のお得なサービスの詳細は、交通局ウェブサイトをご覧ください！

仙台の移動をもっと自由に、
スマートにするための「仙台 MaaS」



市バス・地下鉄のお得な運賃制度

○地下鉄 210円均一

<https://www.city.sendai.jp/kokyo/kurashi/machi/kotsu/annai/210enkinnitu.html>

○東西線結節駅周辺バス 100円均一

<https://www.city.sendai.jp/kokyo/kurashi/machi/kotsu/annai/kessetu.html>

【休日のお出かけなどに便利な一日乗車券】

○市バス一日乗車券 ○地下鉄一日乗車券

○るーぷる仙台・地下鉄共通一日乗車券

<https://www.kotsu.city.sendai.jp/fare/waribiki.html>

【通学に加えて習い事などの利用路線も格安で購入できる通学定期券】

○学都仙台フリーパス

https://www.kotsu.city.sendai.jp/fare/freepass/hanbai_index.html

お乗りの際は

イクスカ

「icsca」をどうぞ



ICチップが埋め込まれたカード乗車券。事前に入金(チャージ)しておけば、地下鉄の改札機またはバスの運賃箱にタッチするだけで運賃が支払えます。



お問い合わせ

交通局案内センター 022(222)2256

月～金/8:30～18:30、土・日・祝/8:30～17:00



Twitterでも情報発信中！ @sendaishi_kotu

交通局ウェブサイト

